

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2013

文化通

冬

12月1日発行(季刊)



お成り街道、お殿さまがゆく。

高松秋のまつり「お成り街道大名行列」は、江戸時代に藩主が菩提寺の法然寺に参拝した様子の再現で、花形は白馬に乗った殿様役ですが、第20回記念の今年、家来に守られながら華やかな衣装の姫君や侍女を従えた高松松平家14代当主・松平頼武さんの凜々しい乗馬姿の殿様ぶりが、見物客からの喝采を浴びていました。

(8面に関連)

新しい文化の創造 瀬戸内サーカスファクトリー見参！
能管を習って 香川杉会
12月から2月までの茶華道・イベント情報
財団のお知らせ

新しい文化の創造 瀬戸内サーファクトリービー見参!

新しい文化というのは、ひとりの情熱から始まることが多い。高松でもそういう情熱を持ってひとつの文化を立ち上げたいと考えている人物がいる。「サーカスに逢いたい～アートになったフランスサーカス」の著者の田中未知子さんだ。北海道から東京を経て瀬戸芸の高松へ。現代サーカスのクリエイティブの拠点にしたいと腰を据えて二年目。ことでんの仏生山工場を舞台に繰り広げられた「100年サーカス」は、その最初の成果だった。



高松はサークルの発祥の地
皆さんにはサークルというとどういうイメージでしょうか。日本でサークルの一座が発足したのは、明治三十二年。大阪で西洋曲馬を主体にした日本チャネリー座だそうです。サークルの原型は曲馬にあつたそうです。
香川では、それ以前に矢野巡回動物園が発足。明治四十年にドイツからライオンを買い付けることに成功し、これを機に全国を巡回して大当たりしたそうです。大正五年にサークル部門を加えて、矢野サークルが始まつたそうです。高松もサークル発祥の地でもあつたと言えるかも知れません。

が創設され、現代サークス興隆の道が開かれました。言葉の壁がなく、子供も大人も楽しめるサークスは、バレエやオペラといった高級芸術が取り逃がしていくた
新たな観客層の獲得に成功。また、国際交流の一助にしたいという試みは世界的な潮流にもなりました。

現代サークスと言えば、最近の日本で紹介されたカナダ発の「シルク・ド・ソレイユ」が記憶に新しいと思いますが、大きなステージのショーとして完成させた現代サークスのひとつが、言えそ
うです。でも、今回ご紹介するサークスはそれとは少し違う世界です。もう少し巾広く、個性的で、芸術的な要素の強い世界です。もつと新しい可能性を秘めているような気がします。

フランス・サーカスの旅

今秋十月中旬に田中未知子さんと瀬戸内サークルファクトリーのメンバーと同行して現代サークルの実情について取材

リド・サーカス学校

ここは文化省が設立した組織で、芸とサークルの国内外への普及を目的としています。上演団体、教育機関、助成制度などに関する情報を集約し、関係者に提供。また、それらの社会的、経済的な構造についての調査・研究も行っています。発行する機関誌「ストラーダ」は、先日フランス出発の直前にトキワ街で開催された「街中サークル」でも活躍されたジュロさんの紹介や、瀬戸内サークルファクトリー旗揚げ（計画）のことなど載っていました。

オール・レ・ミュール訪問

田中さんは、十年前、北海道新聞の事業部で勤務した時にフランスのサークスに出会つて、ずっと交流を続けて来られました。フランス語も堪能なのでフランス国立大道芸サークス情報センター「オーナー・ル・ミュール」の理事長ジヤン・ディリニユ氏からも日本特派員として認められています。

ジヤンさんは、やはり八〇年頃に、それまでパリが独占していた芸術や文化の地方分権化を提唱し推進し、芸術文化に接する機会を地域的、社会学的に均等化にして、現在のような地方隆盛の基礎を作りました。シラク大統領時代には国民教育省の大臣房を務め、文化行政には大きな影響力を持つ人物です。現在はパリ第8大学で教鞭を執りながら、モンパルナス美術館の館長もされています。

ラ・グレヌリー

「ル・リド」から車で十分分のところに、
「グレヌリー」というプロのアーティストに
対するトレーニングとクリエイションをサポートする施設があります。
主にサークルの作品を作るための場所や
費用の提供も含めて支援する組織です。
現在は、新しくディレクターになつた
セルジユさんの方針で、各カンパニーから
ラブレゼンされた中からグレヌリーの方
で作品をセレクトして、より手厚いサポート
が供給出来るように方針変更しました。
うです。また、ル・リドとの相互補完関係を確立して、新しいカンパニーの立ち上げの為の支援もしたいと考えているそ
うです。

設備は全部で七部屋。空中プランコも
練習出来る天井の高いトレーニングルームと中二階の練習場。スタジオが二つと
少し大きなスタジオ。本格的な公演が出
来るステージがあります。今後の展開と
しては宿泊施設や食堂も充実させる予定
とお話ししてくれました。基本は助成金

なので、優先順位を付けて、徐々に必要な設備を整えて行くやり方が一般的なようです。去年の実績で九十カントンパニーが利用ということなのでほぼ、フル稼働の状態です。

ル・ユジーヌ

こちらも当初はスクワット（不法占拠）から始まつた大道芸のためのスタジオです。二〇〇五年に行政的な文化プロジェクトと認められ、場所を移してサポートを支援しています。Le P. H. U. N. という二十八年の実績を持つ大道芸の元祖的なカンパニー。他にラ・マシーンという巨大オブジェのパレードを得意とするカンパニー。実写版のアニメ映画を制作する会社とユーニクス全体の運営管理と各種支援の窓口となる協会といつた四つの要素がそれぞれ独立しながら、協力体制もとつています。

日本では大道芸と言うとどこかの広場でジャグリングをするようなイメージですが、ここではもう少し規模の大きなモノが対象となるようです。例えば高さ十五メートルのビルのような巨大マリオネットを野外で動かすとか、日本で言えば飛騨高山の祭りの山車がからくり人形を操りながらパレードとか、青森のねぶな祭の山車とか、そういうイメージに近いと思います。

ユージーヌでは、大きな工場のような建物と設備が調つていて、そうしたクリエーションの援助や補助が大きな仕事となっています。

他にも衣装制作のための大きな工房やグレヌリーと同じような貸しスタジオがあります。こちらは居心地の良い宿泊施設や、料理人のいる食堂がありました。食事は、野菜たっぷりで非常に美味しいかつたです。また、カンパニーが使える簡易な倉庫やここからツアーオ出かける時に自分の車などを置いておける駐車場もあつて、想像以上にきめの細かいサポートをしてくれます。

リドとグレヌリーとユージーヌは、トルーズ周辺地域のサークスの中心です

初めての現代サーカス

私たちにはここで、八作品を見せてもらいましたが、ほとんどは初めてでとにかくビックリのひと言でした。夜の公演なのに子供たちもいっぱいいて、とても楽しそうです。開場して、まだ客席が埋まらないくらいの時に、アコ^レデオン弾きが目の前に立つて、音楽を奏で始めます。円形の舞台の中では床をモップのような

フランスの文化行政

オーレ・シユの街のリクレーシヨン施設は一九七五年に地元の神父さんが開きました。現在は農産物の見本市会場だつたところを改装してサー・カスに必要な設備がされています。職員は三人で二人はサー・カスの指導者、ひとりはダンスの指導者だそうです。生徒は六歳から十九歳で、現在百四十名。年間十万ユーロの助成金と一人当たり年間二百ユーロの会費で運営しているそうです。

基本は出来る子が出来ない子を教えるというと、見ていても大きい子たちが小さいこの面倒を注意しながらよく観てあります。昔の子供会の感じです。年にひとりくらいはサー・カスの上級の学校を目指すそうです。ここもサー・カス学校協会に所属していて、パリのオール・レ・ミールとも連動しています。

ボツブサーカスの子供達

始まっています。もうサーカスは
テントの中で繰り広げられる、絶妙な
演技と交錯する技、緩急自在の音楽で一
瞬のうちに興奮が一体化して行きます。
その独特な連帯感。言葉の必要もなくそ
の世界に引き込まれて行きます。
各カンパニーは、個性的なテントや舞
台を作り、楽しい小道具や舞台衣装など
どれをとっても独特な雰囲気を演出して
います。エンターテイメントな作品、ポ
エトリーナな作品、インスタイルーシヨン的
な作品、演劇的な作品、大道芸的な作品
など、それぞれに緻密に作り上げ、それ
でいてライブのスリルが十分に伝わるよ
うな、まさに一期一会の総合芸術の感が
ありました。その場にいることが最も大
事なことなんだと思えるような作品ばか
りでした。

瀬戸内サークルアクティー

僚社会と聞いていますが、こういうお金の動きは、タテ社会の欠点を補う手段として、かなり有効で合理的な印象がありました。力ネもモノも必要なタイミングでうまくシェアされていて無駄がないよう感じました。

設は独立しながらもうまく連携していく補完関係にあること。そのポイントがアーティストのクリエイティブを如何に支援していくかということに向いています。施設の管理と運営が別になつていて、運営に関しては助成金の割り振りまで含めて、実績のあるサーカスの専門家に任せていること。ハードとソフトを分離して考え方は日本にはありません。助成金は単独ではなく、国や地方などが複合的に連携していること。また、こうした運営とは別に、カンパニー単独の国際的な活動などに対しても別途助成金が用意されていること。これは海外でのクリエイションや公演についての経費にも及びます。結果的に全体を俯瞰してみると、アーティストは非常に活動の巾が広がり、自治体との連携やファンドバック等の機

他にはないがも知れませ
もちろんフランスがそ

能管を習つて

香川杉会高松世話人 広瀬 昇

皆さん、NHK大河ドラマ『八重の桜』、そのテーマ曲で吹かれていた最初の笛の一声をお聞きだと思います。あの笛（能管だと思います）の一声がまさに、主人公八重の生き様を象徴しているとは思いませんか。私は、あの笛の一声を聞くたびに、身の引き締まる様な心の高揚を覚えるのですが、連なるメロディーの一群ではなく、唯の一声が万物の森羅万象を表現し、語る。能管の素晴らしさ、恐るべし。

皆さん、はじめまして。香川杉会です。私は、能で吹く笛、能管を習っている会です。高松に会が出来て十七年になります。京都より能管の三流派の一つ森田流の名手杉市和先生をお迎えして、毎月一回、和氣藹々、しかし、真剣に練習に向き合つています。一度、私達が練習している場を御覧になつて、そして、興味を持つて下されば、幸せに存じます。そして、仲間になつてください。一度は、もつと幸せに存じます。本当に、一生の宝物となるような習い事となるでしょう。

では、私達が習っている能管について、お話ししましよう。能管は横笛です。長さが四〇センチ位、吹口と七穴の指穴があります。材質は竹です。良質の煤竹が最高のもとのとされています。管の内外は漆が塗られ、処々、桜の皮糸で巻かれています。雅楽で使われる龍笛と外観はよく似ています。能管の大きな特徴の一つに、管の内側の一部が狭くなっている構造があります。その為に「ひしき」という能管特有の高音が出し易くなっています。どうして、そういう構造になったのかは、諸説あるところであります。

とにかく、世界に笛多しといえども、この構造をしているのは、唯一、日本のこの能管しかありません。能管には、その

他にも他に類のない工夫があります。本当に、古人の偉大な知恵としかいいようがありません。そのような物ですから、能管を古人からの大切な遺産として、能管を習う者は、受け取る必要を感じる次第です。

さて、能には、囃子・謡・舞の三本柱があります。舞台は、これらが一体となつて出来上ります。私達が習っている能管は、囃子になります。囃子には能管・小鼓・太鼓があります。能管以外は全て打楽器であり、能管が唯一のメロディー楽器です。

能管の音階は、基本的には日本音階ですが、笛の材質が自然のものであることや、作り方によって笛ごとに音律の差異が生じることになります。西洋楽器を基準にするならば、まことに変な楽器なのです。

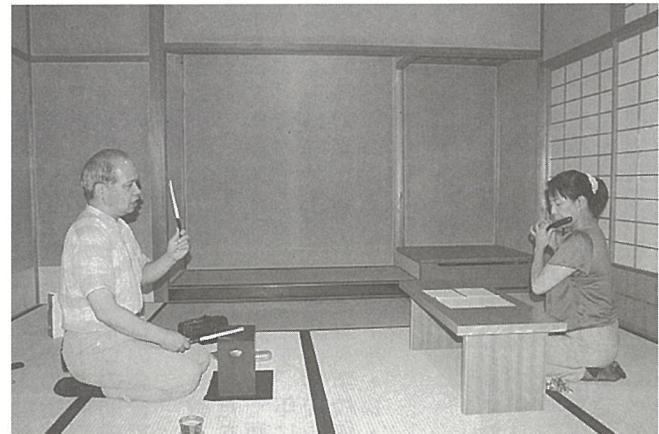
能楽は合奏曲なのですが、メロディー楽器は能管のみで、しかも吹手は、基本的には一人ですから、その笛の固有の音律で吹いても充分なのです。笛が吹くメロディーは、他の楽器と合せて、舞の曲を吹くだけではありません。曲中の人物の心情とか、曲の情景とかを表現したり、また、曲の進行を音やメロディーで合図をして促したりします。

五線譜と音符ではなくて、カタカナで縦書きに表示されます。例えば、代表曲『中之舞』は、「オヒアアアアラア○オヒアイヒヨイヒアリウヒ」（○印は休止符）という風に始まります。この一音一音に指使いがあります。使い方は、漢数字と記号で文字の左右に表示されます。これは、使う指と指の動作を表示します。

◆ 初釜
大茶会で財團席を担当して頂いたことがあります表千家流 土井宗以先生が點初めのお席を設けてくださることになりました。

「午歳の一年が良い年になりますように心を込めて一服差し上げたいと思つております。」と席主からのメッセージと合せてご案内致します。

好例の福引もありますのでお楽しみに。



杉 市和先生の稽古はひとりづつ丁寧に行なわれます。

財団行事予定 (十二月～二月)

十一月

◆ 宗屋襲名十周年記念茶会

日時 十二月一日(日)

処 美藻庵 晴松亭(当財團茶室)

席主 武者小路千家 隨縁斎 千宗屋宗匠

茶席 濃茶・薄茶・点心席

会費 二万五千円

入席時間ご案内

第一席九時 第二席九時五十分

第三席十時四十分 第四席十一時三十分

第五席十二時二十分 第六席十三時十分

第七席十四時(各席一時間三十分を予定)

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

先生のご都合によりお休みです。

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日

十二月十七日(火)午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)

毎月第二・第四土曜日

山下純子先生

十一月十四日(土)・二十八日(土)午前十一時～

二月

◆ 初釜

大茶会で財團席を担当して頂いたこと

もあります表千家流 土井宗以先生が

點初めのお席を設けてくださることに

なりました。

「午歳の一年が良い年になりますよう

に心を込めて一服差し上げたいと思つて

おります。」と席主からのメッセージと

合せてご案内致します。

好例の福引もありますのでお楽しみに。

日時 一月五日(日)

お菓子ではないけれど

お正月と言えば、おせち、お雑煮。今回はスイーツではないのに甘い讃岐のお雑煮を紹介します。

ご存じ、あん餅雑煮です。

この珍しい甘いお雑煮は、ほとんどが上納され、地元で手に入れることが難しかった「讃岐三白」の一つの砂糖を正月だけは食べる事が許された事に由来していると言われています。

我が家では白味噌に大根、人参、蒲鉾にあん餅、それに青海苔のトッピングです。

白味噌に餡が溶けだした独特の甘じょっぱい味は好みが別れるところですが、讃岐人にとってはうどんの次に外せない食文化ではないでしょうか。

最近は食べさせてくれるお店も出てきたので、未体験の方はぜひ一度挑戦してみて下さい。



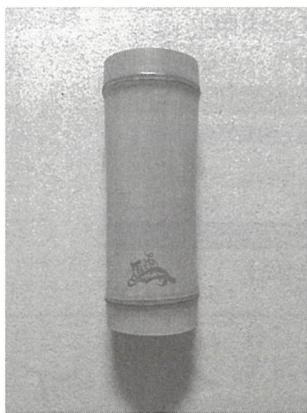
くにもの (14)

松平頼該・左近さん

財団の茶会で見事な花入を見ました。竹一重切に堂々たる朱うるしの花押があり、作者はさぞやのお武家、殿様かと想像しております。折に、松平金岳殿御手作り、銘「海老」とのご披露がありました。

金岳とは松平頼該(左近)のこと、八代藩主の長男と生まれながらも亀阜荘に若隠居し、勤皇思想熱く、幕末の朝敵騒動を無事おさめて高松城下を戊辰の戦火から救つた殿様です。

文武両道に秀でた学者肌の文化人で、達者な絵筆で描きあげた「石清尾八幡宮祭礼図」が残り、法華宗の熱心な信者としての「曼荼羅御本尊」真筆は、ご命日の菩提寺での法要に欠かせません。



全に覚えるまでは、笛に触ることができるませんでした。今は、そういうことは無くて、吹きながら、唱歌と指使いを覚える、という練習の仕方になっています。先生と一緒にになって、唱歌と吹き方を習います。この時こそは、本当に緊張する時間です。ところで、人前で吹く発表会の時などは、一切、楽譜を見る事は出来ません。ですから、唱歌は、すなわち、楽譜は必然的に暗記しなければならないことになります。これは大変なことだと思われる方が居るかもしれません、それ程ではありません。繰り返し練習していく中で、唱歌は、自然に頭の中へ入って行きます。やがて、吹く時に、自然に頭の中に唱歌が浮かんで来るようになります。そして、この唱歌に合せて、指が動く様になるのです。

まあ、練習は、必要ですが、やればやれるものです。どの習い事でもそうではないでしょうか。基本が大事です。

ところで、能は歌舞伎のように、大衆に支援された芸能とは異なって、発生当初より、支配的階級の人達に愛され、育つて来た芸能です。だから、大きな政変時には、支援者を失つて挫折する浮目に合つて来ました。これらの芸能は、大衆の支持がなければ成り立つて行くことは出来ないでしょう。まだ能は、多くの支持を得ていると言えません。

では、何故、私達は、こんなに一生懸命に能管を練習するのか。それは、日本の質の良い伝統文化を、能の伝統文化を、能管の次第です。もつと多くの人に聞いてもらいたい、贊同を得ることができるならば本当に嬉しいことなのです。

一月

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生
二月四日(火)午前十一時・午後三時

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
二月十四日(金)午前十時～十二時

◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
二月十八日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
第三席 十時五十分 第四席 一時三十分
第五席 十二時十分 第六席 十二時五十分
第七席 十三時三十分 第八席 十四時十分

入席時間ご案内 各席十六名・二時間予定
第一席 九時三十分 第二席 十時十分
第三席 十時五十分 第四席 一時三十分
第五席 十二時十分 第六席 十二時五十分
第七席 十三時三十分 第八席 十四時十分
会費 八千円
席主 表千家流 士井宗以
茶席 濃茶・薄茶・点心席

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生
二月八日(土)・二十二日(土)午前十一時～
◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
二月十四日(金)午前十時～十二時

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
二月十八日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
一月十一日(土)・二十五日(土)午前十一時～

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
二月八日(土)・二十二日(土)午前十一時～

◆ 「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一一一二

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生
二月四日(火)午前十一時～

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
二月十四日(金)午前十時～十二時

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
二月十八日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
一月十一日(土)・二十五日(土)午前十一時～

◆ 「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一一一二

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生
二月四日(火)午前十一時～

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生
二月十四日(金)午前十時～十二時

◆ 月に一度の喫茶室 每月第三火曜日
二月十八日(火)午前十時～午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。

◆ ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
一月十一日(土)・二十五日(土)午前十一時～

◆ 「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一一一二

茶 華 道 ガ イ ド

一茶庵流 **☎ (087)835-3140**

1/18 第60回日本伝統工芸展協賛茶会
席主：一茶庵流香川県支部
県立ミュージアム 500円 9:30~15:30
表千家同門会香川県支部 ☎ (087)845-4638

2/9 表千家四季茶会 席主：坪井洋二
中條文化振興財団 600円 9:00~15:30
2/16 表千家中譲地区春秋茶会 席主：庄 澄子
まんのう農改センター 500円 9:30~15:30

香川大学表千家流茶道部 ☎ (090)7147-5712

12/1 第33回香川大学表千家流茶会
席主：香川大学表千家流茶道部
玉藻公園披雲閣 800円 10:30~15:00

12/15 月釜 席主：香川大学表千家流茶道部
龍光塾 500円 9:30~14:00

1/19 月釜 席主：香川大学表千家流茶道部
龍光塾 500円 9:30~14:00

2/16 月釜 席主：香川大学表千家流茶道部
龍光塾 500円 9:30~14:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎ (087)58-9551

12/1 月釜 丸亀分会 席主：香川宗洋
生涯学習センター 500円 10:00~15:00

12/8 月釜 善琴分会 席主：香艸会
樟陰軒 500円 9:00~14:00

1/19 月釜 多度津分会 席主：兼近宗美・仁信宗和
総合福祉センター 500円 10:00~15:00

1/26 月釜 善琴分会 席主：朝風会

樟陰軒 500円 9:00~14:00

2/16 月釜 丸亀分会 席主：逸見宗瓊
市民会館 500円 10:00~15:00
2/23 月釜 坂出分会 席主：佐藤宗由社中
自宅（駒止町） 500円 10:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎ (087)886-5668

12/15 年末チャリティー茶会 席主：青年部
天神会館 800円 9:00~15:00

12/15 由佐城 月釜 席主：小倉宗貴
由佐城 前売400円・当日500円 9:30~14:00

2/2 裏千家淡交会 月釜 席主：村尾宗淑・横山宗留
天神会館 前売600円・当日700円 9:00~16:00

2/2 節分茶会（点心付） 席主：高畠宗稔

栗林公園花園亭 3,000円 9:00~16:00

2/16 市茶華道協会 きさらぎ茶会 席主：長尾宗美

香川県文化会館2階 600円 9:30~15:00

茶道石州流宗家高松会 ☎ (087)878-2172

2/16 由佐城月釜茶会 席主：落合宗仁

香南歴史民俗郷土館2F 前売400円・当日500円 9:30~14:00

石州流讃岐清水派石州会 ☎ (087)898-6569

1/19 第60回日本伝統工芸展 協賛茶会

席主：田所宗雪
香川県立ミュージアム2F西側ロビー
500円 9:30~15:30

東讃茶道懇話会 ☎ (087)898-0391

1/19 月釜 席主：表千家流萌生会

池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

2月 月釜 席主：裏千家 大社レイ子
池戸西徳寺 500円 9:00~15:30

武者小路千家香川官休会 ☎ (087)851-2258

1/12 月釜 席主：在松会
無量寿院 600円 9:00~15:00

高松市歴史資料館（サンクリスタル高松）☎ (087)861-4520

12/23 藤澤東咳展～没後150年記念～「茶会」
席主：藤澤東咳顕彰会
4階ロビー 500円 9:30~16:00

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室
前売400円・当日500円 9:30~14:00

12/15 席主：小倉宗貴（裏千家 高畠宗翠社中）

2/16 席主：落合宗仁（茶道石州流宗家高松会）

中條文化振興財団 ☎ (087)826-3355

12/1 宗屋襲名十周年記念茶会 25,000円

席主：武者小路千家 隨縁斎 千宗屋宗匠

1/5 初釜 席主：表千家流 土井宗以 8,000円

詳細は、財団行事予定をご覧ください。

イ ベ ン ト ガ イ ド

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

<石の民俗資料館コンサート>
12/21 親子で歌いつごう日本の歌百選 冬編
エンターランスホール 18:30~●
2/22 ダブルチエンバロ！
エンターランスホール 18:30~●

土庄町文化協会 ☎ (0879)62-7013

12/8 音楽フェスティバル
中央公民館大ホール 13:00~■

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000

12/8 さぬき市志度音楽ホールが贈る
New Artists Recital Vol.11
大久保成美フルートリサイタル 14:00~●

2/9 桂ざこばの会 14:00~●

坂出市役所産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015

2/8,9 坂出天狗まつり
松山小学校・相模坊・林田運動公園他
時間は行事により異なる■
(9日のマラソン参加料有・要申込)

坂出市民ホール ☎ (0877)45-1505

12/8 第40回坂出市民芸術祭日本舞踏公演 11:00~●
12/22,23 J.O.C.フロアコンサート 時間未定 ■

坂出市民美術館 ☎ (0877)45-7110

12/7~15 第51回坂出市美術展覧会 ■
1/24~26 第43回幼児画展 ■
2/1,2 生活文化展 ■
2/13~16 第34回毎日児童生徒書き初めコンクール ■

かまどホール ☎ (0877)46-2178

~12/23 心いやされた「ものもの」展 10:00~●
1/2~26 山端篤史展「喚起する源」 10:00~●
2/1~23 北岡省三 漆友会展 10:00~●

多度津町民会館 ☎ (0877)33-3330

12/14 ほっとコンサート！vol.4
Kazuma Yamamoto Guitar TRAVELING2
2Fホワイエ 14:00~●

2/15 劇団四季ファミリーミュージカル
桃次郎の冒険 18:00~●

3/2 東京ニューシティ管弦楽団
四重奏 14:00~●

丸亀市文化観光課 ☎ (0877)24-8822

12/8 まるがめ第九プレコンサート
本願寺塩屋別院 14:00~■

12/15 2013まるがめ第九演奏会
アイレックス大ホール 14:00~●

1/19 平成25年度優秀映画鑑賞推進事業 名作映画まつり
アイレックス大ホール 10:30~●

2/16 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル
丸亀市民会館大ホール 14:00~●

2/19~23 平成25年度丸亀市若手芸術家支援事業
「原点」～松下仁美展～
丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー 9:00~■

丸亀市文化協会 ☎ (0877)24-8822

1/19 名作映画まつり
綾歌総合文化会館アイレックス 10:30~●

2/16 千住真理子ヴァイオリンリサイタル
丸亀市民会館 14:00~●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎ (0877)24-7755

<猪熊弦一郎展>

~2/16 新しい美ー抽象の探求 10:00~●

~2/16 丸亀とともにー香川県立丸亀高等学校
所蔵作品を中心 10:00~●

~2/16 うつくしいからだ 10:00~●

丸亀市綾歌総合文化会館 ☎ (0877)86-6800

12/15 2013まるがめ第九演奏会 大ホール 14:00~●

1/19 平成25年度優秀映画鑑賞推進事業
名作映画まつり 小ホール 10:30~●

丸亀市民会館 ☎ (0877)23-4141

12/23 冬の祭典2013/14「アンサンブルの輪」
大ホール 10:00~■

1/20 NHK全国放送公開番組「民謡魂 ふるさとの唄」
公開収録 大ホール 18:30~★

1/26 第12回まるがめクラシックギャラリーコンサート
大ホール 14:00~●

2/8 アコースティック ナイト in 丸亀
大ホール 17:30~●

2/9 冬の祭典2013/14「和の祭典」
大ホール 10:00~●

あーとらんどギャラリー ☎ (0877)24-0927

12/7~23 らんど・フェア 展 10:00~■

1/11~30 原 博史 展 10:00~■

ぎゃらりい風 ☎ (0877)86-2112

12/1~8 綾歌絵画研究会 第3回絵画展 水澤正信氏が
指導する絵画教室の19名の発表会 10:00~■

灸まん美術館 ☎ (0877)75-3000

~12/3 第23回チャリティー展 9:00~■

12/6~10 第2回革つづり展 9:00~■

12/13~17 染・織 二人展 9:00~■

12/20~24 第16回備前焼勝賀瀬寛陶芸教室展 9:00~■

12/27~1/7 韶きあう精神 9:00~■

1/10~14 松下仁美 展 9:00~■

1/17~21 黒田大・真理子 陶展 9:00~■

1/24~28 第3回墨遊会書展 9:00~■

1/31~2/4 菜の花の会絵手紙展 9:00~■

2/7~11 第17回日本画・水墨画 秋山一水 展 9:00~■

2/14~18 藤村英代 組紐展 9:00~■

2/21~25 花あたりえ展 9:00~■

2/28~3/4 あかね保育園々児作品展 9:00~■

わが家ギャラリー木きん堂 ☎ (0875)63-4920

12/3~8 動物いっぱいトールペイント作品展 9:40~■

12/10~22 年賀状展 書の作品展 9:40~■

1/8~19 季節の絵手紙展 9:40~■

1/21~2/2 おひな様と古布の洋服展 9:40~■

観音寺市教育委員会生涯学習課 ☎ (0875)23-3943

2/16 第9回観音寺市民音楽祭 11:30~■

大野原会館

イベントガイド

高松市美術館 ☎ (087)823-1711

- ~12/23 平成25年度 第4期常設展
1室：ザ・コレクション立体ー
2室：大正・昭和期のモダニズム—金工の歩みー
常設展示室 9:30~●
1/7~3/30 平成25年度 第5期常設展
1室：ザ・コレクションインスタレーション・映像・写真ー
2室：戦後の漆芸
常設展示室 9:30~●
2/18~3/23 高松市美術館開館25周年記念特別展
「没後50年 磯井如真展」
一般・企画展示室 9:30~●
高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520

- ~12/23 第64回企画展「知の巨人 藤澤東咳展
~没後150年記念」高松市塩江町出身の漢学者 藤澤東咳が地元湯家へ宛てた貴重な書簡の一部を初めて一般公開。東咳・南岳・黄鶴・黄坡の三世四代の当主に關係するものや、幕末に活躍した地元出身者ゆかりの資料等を展示
4階企画展示室 9:00~●
会期中の日曜日 展覧会担当者及び歴史資料館サポーターによる「ミュージアムトーク」4階企画展示室 10:30~●
12/21 歴史資料館讀岐村塾講座
「細川林谷の印譜について」
講師：田淵元博（藤井学園寒川高校教諭）
3階第1集会室 13:30~■(定員80名 申込不要)
企画展記念「茶会」
主席：藤澤東咳顕彰会
4階ロビー 500円 9:30~16:00
12/23 講演会「啄木に泣かれた藤澤代議士
—藤澤黄鶴と石川啄木—」
講師：田山泰三（国際啄木学会会員）
3階第1集会室 13:30~■(定員80名 申込不要)
2/8~3/23 第65回企画展 神原文庫資料展
「絵図・地図展」(仮称)高松・香川(讀岐)
ほか周辺地域の絵図・地図等を展示紹介
4階企画展示室 9:00~●

- 菊池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502
12/7 文芸講座「創作『文芸紙碑』」講師：野口雅澄
3階第1集会室 13:30~■(先着70人)
1/11 文芸講座「ずいひつ『ちょっとしたコツ』の文章教室」講師：篠永哲一
3階第1集会室 13:30~■(先着70人)
2/1 文芸講座「菊池高洲の文学」
講師：田山泰三
3階第1集会室 13:30~■(先着70人)

- 高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222
12/5 『クリスマスリース』～今年こそ手作りしましょ！～
実習室 13:30~●
12/5, 12, 19 歴史に学ぶ人生の知恵
大研修室 13:30~●
12/12 “あそびの樂工” 「のどかなお正月飾り」
実習室 13:30~●
12/15 干支の午の折紙教室 実習室 13:30~●
12/19, 26 生活を遊びましょ！ともかくかんたんトールペイント
実習室 10:00~●
12/20 七宝焼で作る素敵なアクセサリー教室（ブローチ編）
実習室 13:30~●
12/22 バレーンでクリスマスツリーをつくろう！
実習室 10:00~●
12/22 子どもと作る樹脂粘土教室～キラキラチャーム～
実習室 13:30~●
12/23 魔法のくすり箱による心のリフレッシュ
実習室 10:00~●
1/18 新春初笑い夫婦寄席
多目的ホール 13:30~●

1/29 こころとからだのいきいき体操
大研修室 13:30~■

1/29, 2/5, 12 年中行事と讀岐の習俗
視聴覚室・和室 13:30~●

2/9 ひな祭り折紙教室 実習室 13:30~●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

12/1 第33回香川大学表千家流茶会
主席：香川大学表千家流茶道部

玉藻公園披雲閣 800円 10:30~15:00

1/1~3 新年無料開放 園内

1/2 第三回新春書初め大会 披雲閣

1/3 第六回高松城新春かるた大会 披雲閣

2/1 菊作り講習会 披雲閣

ミューズホール ☎ (087)833-0013-0014

12/14 香川大学ギター・アンサンブル
定期演奏会 18:00~●

香川県政策部文化振興課 ☎ (087)832-3785

<かがわ文化芸術祭2013>

12/1 主催公演「舞踊の祭典2013」
アルファあなぶきホール 13:00~●

12/7 主催公演「街角アートパフォーマンス2013」
西讃会場

観音寺グランドホテル大ホール 13:00~■

1/13 主催公演「街角アートパフォーマンス2013」
高松会場 さぬきこどもの国 13:00~■

1/26 主催公演「街角アートパフォーマンス2013」
東讃会場 東かがわ市交流プラザ 13:00~■

1/25 特別事業「上原彩子ピアノリサイタル」
(香川県民ホール文化事業)

アルファあなぶきホール小ホール 18:00~●

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

12/15 一人芝居セレクション
毬谷友子一人芝居「弥々」
サンポートホール高松 第1小ホール 14:00~●

1/26 JAZZ 6 PIANOS
ジャズ・ピアノ6連弾2014
サンポートホール高松 大ホール 15:00~●

2/9 高校演劇フェスティバル
大阪市立鶴見商業高等学校「ROCK U！」
第1小ホール 13:00~●

高松市創造都市推進局文化財課 ☎ (087)839-2660

12/1 柴野栗山207年祭 栗山記念館(牟礼町牟礼3028)

式典、作品展、茶会など 9:00~■

講演会「栗山先生の機智」 10:00~■

講師：廣常人世（岡山大学名誉教授）

水任流新春初泳ぎ大会

大的場海岸(浜ノ町) 10:00~■

1/11 親子文化財教室「お茶のおもてなしの心を考えよう！」12/20迄に市保護協会(文化財課内)

へ要申込 中條文化振興財団 13:00~●

<ふるさと探訪>

12/15 「香西の社寺を訪ねる」(予定)
場所未定 9:30~■

1/26 「讀岐国府跡を訪ねる」(予定)
場所未定 9:30~■

2/23 「讀岐国分寺跡周辺を訪ねる」(予定)
場所未定 9:30~■

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

12/3~8 フォトなかよし会写真展 9:30~■

12/10~15 第6回SIC写真展 9:30~■

12/17~22 あみもの作品展

寺岡編物教室、谷川編物教室 9:30~■

1/7~12 第57回(平成25年度)JA共済全国小・中学生

書道コンクール香川県予選入賞作品展示会

JA共済連香川 9:30~■

1/14~19 一宮コミュニティーセンター讀岐影展示会
讀岐影同好会 9:30~■

1/21~26 水彩画展 NHK文化センター高松教室
「外で描く風景画」講座 9:30~■

1/28~2/2 「2014」私達の写真展 9:30~■

2/4~9 第10回グループ彩光展 9:30~■

2/25~3/2 NHKカルチャー教室「自然風景を撮る！」
第2回写真展 撮影実習と講評 9:30~■

桜ショップ高松店 ☎ (087)831-8866

1/24~30 藤代光雄 創作雛人形展
(一刀彫に古代裂を木目込んだり彩色したお雛様)

10:00~■

ギャラリーen(今新町) ☎ (087)851-3711

12/3~12 てんてこ舞 杜のとなり 10:00~■

12/17~25 上松茂世子展 ホームズパンのストール&マフラー
杜のとなり 10:00~■

2/18~25 荒木節子 染織展
ギャラリーen 10:00~■

珈琲俱楽部櫻 ☎ (087)823-0160

12/3~14 「の～と。」のアクセサリー展
真鍋典子の天然アクセサリー 10:00~■

2/1~14 チェルシーさんのコレクション
イギリスアンティーク(クロコBag)
バッグ展 10:00~■

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

12/3~8 さぬきおんなの手仕事Vol.5 陶磁器、布織物、
フェルト、染色、アクセサリー、漆、ガラス

企画：GALLERY Komorebi 10:00~■

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

12/3~8 共催展「第14回 香南文化交流展」
2F市民ギャラリー 9:00~■

12/14~1/13 企画展
「中山城山の門弟 藤澤東咳展～没後150年～」
2F市民ギャラリー 9:00~■

12/22 企画展連講演会「後藤芝山と渢百年－
高松藩好学の源流」 講師：田山泰三
第1研修室 10:00~■

1/17~2/5 企画展「篆刻展」
2F市民ギャラリー 9:00~■

2/16~3/14 企画展「第13回郷土の文化拓本展」
2F市民ギャラリー 9:00~■

<由佐城月釜茶会> 第2研修室
前売400円・当日500円 9:30~14:00

12/15 席主：小倉宗貴(裏千家 高畑宗翠社中)

2/16 席主：落合宗仁(茶道石州流宗家高松会)

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

~1/13 モノクロームの世界
常設展示室 9:00~●

12/1~2/16 yuuko個展「夢は行方不明に」(仮題)
企画展示室 9:00~●

2/22~4/6 それぞれの平面(仮題)
企画展示室 9:00~●

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

~12/8 師走展(前期)企画展示室 9:00~■

12/13~22 師走展(後期)企画展示室 9:00~■

12/13, 1/10, 2/14 古文書を読む会(8)~(10)

講座研修室 14:00~(要教材費)

12/21 お正月しめ縄づくり教室
講座研修室 10:00~(要教材費・先着予約20名)

1/4~2/2 ルカ・ローマ展 Linee Sottili(壁線はかないせん)

企画展示室 9:00~●

2/7~16 如月展 企画展示室 9:00~■

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

上記予定は変更する場合もあります。

「文化通心」第81号は3月1日発行です。次の期間(3月1日から5月末日)の情報を2月10日までにお知らせ下さい。☎ (087)826-2212

■財団の活動報告とお知らせ

中條文化振興財団・ 文化活動奨励事業



去る十月一日(火)、平成二十五年度財団賞授賞式及び助成金交付団体認定書授与式が当財団で行われました。今年度の財団賞には池田利夫氏(当財團理事妹尾共子氏推薦)と鍼おどり保存会(会長川崎ミユキ氏・三豊市文化協会会長推薦)が、助成金交付団体には、愛知芸大瀬戸内アートプロジェクト、田井子供神相撲保存会、てしまのまど、白虎連(三豊市財田町公民館)が決定致しております。受賞者の皆様に岡市代表理事より賞状及び認定書が贈呈されました。

長年の活動についてのお話や助成事業の経過などをうかがい、微力ながら応援させて頂けたことをうれしく思いました。今後も益々のご活躍・ご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成二十六年度 助成金応募受付中

■対象事業

平成二十六年四月一日から平成二十七年三月三十日までに実施予定の文化事業。詳しくは助成基準をご覧ください。

■助成金

審議委員会による書類審査を行い、必要があればプレゼンテーションを開催。平成二十六年三月末までに結果をご連絡致します。

三十万円を限度とし、活動に応じた金額を審議委員会が決定致します。

■応募の方法

財団所定の助成金交付申請書を提出してください。(HP参照) 応募締切は、平成二十六年一月末日。

参道の練り歩き(表紙のことば)

編集後記

昔、玉藻城の常磐橋を起点にした丸亀街道、こんぴら街道、志度街道、長尾街道、仏生山街道は讃岐五街道といわれ、往還は人々を行き来させ、物品の流通をはかり、文化を伝播させて賑わってきました。その中で、特に仏生山街道は、歴代の藩主が法然寺の境内、般若台にある先祖の墓参に通つたお成り街道とも呼ばれます。慣例を踏襲される当代の賴武氏にとても親しみ深い道ではないでしょうか。

昨年、お寺の五重塔落慶祝賀の提灯行列で、町の人たちと一緒に歩いた道を、今回は、「お成り、お成り」と馬上ゆたかなお殿さま姿で進み、沿道の見物客から声もかかって、さながら秋まつり立役者の花道のようです。

幼少期よりご家族で乗馬に親しんでこられたとかで、とても姿勢のきれいな騎乗ぶりで、馬は静止している方が疲れるほど勞わられたり、手を伸ばして馬の首筋をやさしく叩くなど細やかな配慮を続けられながら、今日は馬に乗つての高い目標でこの街並みを俯瞰してきたけれど、実際にしつとりして、品よく落ちていた併寺門前町の参道を楽しめたご様子でした。

未筆ながら、いつも文化芸術や教育の振興の大切さを説き、理解と貢献を続けていらっしゃった松平頼武氏の、本年度県文化功労者表彰お祝い申し上げます。表彰という晴れの席で、これからも“深耕”に努めたいとウイットに富んだコメントを述べられた氏に、故郷文化の継承、教育や芸術の未来開拓など、ますますご活躍を期待申し上げます。

ここ香川でも昔からお遍路さんへのお接待がありますが、元祖「おもてなし」と思います。春・夏・秋の瀬戸内芸術祭で訪れて下さった多くの方に心のこもった「おもてなし」などが有力視されています。

当財団もこの心を持ちつつ、新しい年も歩んでいきたいと願っています。どうぞ、良い年をお迎えください。

【声・情報お寄せください】

〒760-0017 高松市番町二丁目一一一二

公益財団法人中條文化振興財団編集部

T E L (087) 826-3355
F A X (087) 826-2212
info@chuojo-zaidan.or.jp